

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-078708

(43)Date of publication of application : 23.03.1999

(51)Int.Cl.

B60R 11/02

B60J 3/00

H01Q 1/22

H01Q 1/38

(21)Application number : 09-269260

(71)Applicant : MURATA KYOICHI

(22)Date of filing : 16.09.1997

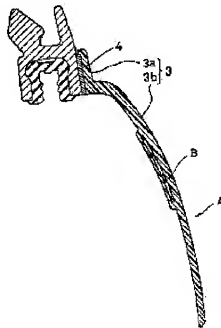
(72)Inventor : MURATA KYOICHI

(54) SIDE VISOR FOR AUTOMOBILE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a side visor for automobile not requiring time and labor for bonding an antenna for increasing sensitivity of a mobile telephone and is free from possibility of functional degradation due to unexpected peeling of the antenna and becoming ugly due to partial peeling and dropping thereof.

SOLUTION: A side visor main body 3 made of a transparent synthetic resin in a side visor for automobile is composed of an ear part 3a along an upper fringe of a side window of an automobile and a visor part 3b provided continuously from the ear part 3a to a lower and outside part. A black pressure sensitive adhesive double coated tape 4 is cut to match with a shape of the ear part 3a and is bonded on a rear surface of the ear part 3a. An antenna for increasing sensitivity of a mobile telephone (an antenna made of metal foil which provides the amplification effect for radio wave of a frequency in a specific region) B is built in a wall thickness of the side visor main body 3, to say concretely, in a wall thickness of the visor part 3b in the vicinity of a rear end of the side visor main body 3 in the side visor for automobile A to be attached to an upper fringe of a side window of a side door by a front seat.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-78708

(43) 公開日 平成11年(1999) 3月23日

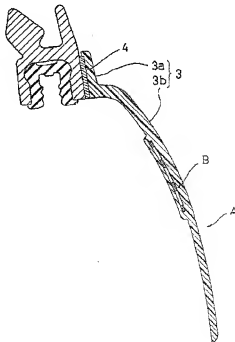
(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	P I	
B 6 0 R	11/02	B 6 0 R	11/02 A
B 6 0 J	3/00	B 6 0 J	3/00 D
H 0 1 Q	1/22	H 0 1 Q	1/22 B
	1/38		1/38
審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 3 頁)			
(21) 出願番号	特願平9-269280	(71) 出願人	000203357
			村田 亨一
			大阪府堺市庭代台4丁18番14号
(22) 出願日	平成 9 年(1997) 9 月18日	(72) 発明者	村田 亨一
			大阪府堺市庭代台4丁18番14号

(54) 【発明の名称】 自動車用サイドバイザー

(57) 【要約】

【課題】 移動電話の感度アップ用のアンテナを貼り付ける手間が要らず、しかも、アンテナが不測に剥がれて機能が低下したり、部分的に剥がれ落ちて、見苦しくなる心配のない自動車用サイドバイザーを提供する。

【解決手段】 自動車用サイドバイザーにおける透明な合成樹脂製サイドバイザー本体3の肉厚内に、移動電話の感度アップ用のアンテナBを内蔵させる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 透明な合成樹脂製のサイドバイザー本体の肉厚内に、移動電話の感度アップ用のアンテナが内蔵されていることを特徴とする自動車用サイドバイザー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、サイドバイザー本体を透明の合成樹脂で作製した自動車用サイドバイザーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、特定領域の周波数の電波に対する増幅効果が認められる金属箔製のアンテナが開発され、移動電話（携帯電話や自動車電話）の普及に呼応して、携帯電話に貼着したり、自動車のウィンドガラスに貼着して用いられており、移動電話の感度アップを手軽に実現できるとして、好評を得ている。

【0003】 しかしながら、これらの従来例では、シール状のアンテナを貼り付けて使用しているため、不測に剥がれることがあり、機能が低下したり、部分的に剥がれ落ちて、見苦しくなることがあった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 上記の現状に鑑み、本発明は、移動電話の感度アップ用のアンテナを貼り付ける手間が要らず、しかも、アンテナが不測に剥がれて機能が低下したり、部分的に剥がれ落ちて、見苦しくなる心配のない自動車用サイドバイザーを提供せんとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記の課題を解決するために、本発明では、透明な合成樹脂製のサイドバイザー本体の肉厚内に、移動電話の感度アップ用のアンテナを内蔵させている。

【0006】 上記の構成によれば、合成樹脂製のサイドバイザー本体の肉厚内にアンテナを内蔵させてあるので、自動車用サイドバイザーの購入者は、いちいちアンテナを貼り付けなくても、携帯電話や自動車電話等の移動電話の感度アップを実現できる。

【0007】 また、透明（無色透明又は有色色透明）な合成樹脂製のサイドバイザー本体の肉厚内に感度アップ用のアンテナを内蔵させるので、アンテナがサイドバイザー本体の表面側に透けて見え、アンテナによる装飾効果が発揮される。合成樹脂製のサイドバイザー本体の肉厚内にアンテナを内蔵させるので、アンテナが不測に剥がれて機能が低下したり、部分的に剥がれ落ちて、見苦しくなる心配がない。

【0008】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1は、本発明に係る自動車用サイドバイザーAを示し、図2は、上記の自動車用サイドバイザーAを乗用自動車の前座側窓1aの側窓2上縁に

2

取り付け付けた状態を示す。図1において1bは後座側窓である。

【0009】 自動車用サイドバイザーAは、図1に示すように、透明の合成樹脂（例えば、薄黒色などに着色された透明の亚克力）の射出成形等により作製されたサイドバイザー本体3と、それを側窓2上縁に取り付けるための離型シートa付きの黒色の両面粘着テープ4とで構成されており、サイドバイザー本体3は、図2に示すように、自動車の側窓2の上縁に沿った耳部3aと、耳部3aから外側下方へ連設された底部3bとから構成されている。黒色の両面粘着テープ4は、耳部3aの形状に合わせて裁断されたもので、耳部3aの背面に貼着されている。

【0010】 前座側窓1aの側窓2上縁に取り付ける自動車用サイドバイザーAには、サイドバイザー本体3の肉厚内、具体的に、サイドバイザー本体3の後端近傍における底部3bの肉厚内に、移動電話の感度アップ用のアンテナ（特定領域の周波数の電波に対する増幅効果が認められる金属箔製のアンテナ）Bが内蔵されている。

【0011】 上記の構成によれば、離型シートaを剥がし、耳部3aの上から両面粘着テープ4を自動車の側窓2の上縁に押圧して、張り付けることにより、自動車用サイドバイザーAが、図2に示す状態に取り付けられることになり、アンテナBの増幅効果による携帯電話や自動車電話の感度アップを実現できる。

【0012】 また、自動車用サイドバイザーAを取り付けた状態においては、アンテナBがサイドバイザー本体3の表面側に透けて見え、アンテナによる装飾効果が発揮される。また、両面粘着テープ4が耳部3aの表面側に透けて見えるが、この両面粘着テープ4が黒色であり、且つ、耳部3aの形状に合わせて裁断してあるため、耳部3aの背面全体を黒色に印刷したのと同じように見えることになる。

【0013】 尚、サイドバイザー本体3の底部3bの肉厚内にアンテナBを内蔵させるにあたっては、インサート成形の他、サイドバイザー本体3と同一材料（亚克力等）の小片の片面にアンテナBを印刷しておき、この小片を印刷面が内側に来るようにサイドバイザー本体3の底部3b背面に溶着してもよい。図示しないが、後座側窓1bの側窓2上縁に取り付ける自動車用サイドバイザーAに本発明を適用してもよい。

【0014】

【発明の効果】 本発明は、上述した構成よりなるから、移動電話の感度アップ用のアンテナを貼り付ける手間が要らず、しかも、アンテナが不測に剥がれて機能が低下したり、部分的に剥がれ落ちて、見苦しくなる心配がない等の効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る自動車用サイドバイザーの分解斜

3

4

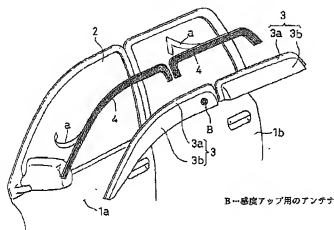
視図である。

【図2】使用状態における自動車用サイドバイザーの断面図である。

【符号の説明】

B…感度アップ用のアンテナ、3…サイドバイザー本体。

【図1】



【図2】

